明治大学大学院 教養デザイン研究科 映像資料プログラム

1950年代社会運動としての「原爆の図」―立川を中心に―

今回の展示企画は「原爆の図丸木美術館」の資料提供の元に開催します。「原爆の図」は全国、さらに世界20か国以上で展示されて来ましたが、特に一九五〇年代は、社会運動と密接につながっていました。戦争の記憶もまだ濃厚にあった時期です。立川には米軍基地があり、朝鮮戦争の最中、臨戦態勢の街として、危機感を高めていました。その戦争の危機は、また現在も、世界に拡散されたものとなっています。先人の過去の努力を介してこそ、私たちはより深くクリアーに今の危機を見つめられるのではないでしょうか…。



日　時

２０２６年１１月９日（月）
～１１月２０日（金）

平日：10時30分～17時30分
土曜：10時30分～13時00分

※ 11月15日（日）は展示を休止します。
校舎への立ち入りもできません。

場　所

明治大学 和泉キャンパス
ラーニングスクエア１階

どなたでも、見学いただけます

協力：原爆の図丸木美術館
（学芸員：岡村 幸宣）

コーディネーター：丸川 哲史 教授（教養デザイン研究科・政治経済学部）